

いずもぎき 議会だより

第94号
2017 平成29年1月25日



12月定例会

もくじ

12月定例会	2
補正予算質疑	4
議会の動き	5
全員協議会	6
行政視察報告	8
一般質問(2人が町政をたずぬ)	10
町民の声(町の元気に私たちも)	12

会期 12月8日～14日
(7日間)

ンを設置

5960万円

追加補正

12月定例会で決まった補正予算

(△は減額)

会計		補正額	補正後の予算額
一般会計(第5号)		1億6029万円	35億7274万円
特別会計	国民健康保険事業(第3号)	△397万円	6億3134万円
	介護保険事業(第3号)	△1430万円	6億9055万円
	簡易水道事業(第3号)	8万円	1億6966万円
	農業集落排水事業(第2号)	5万円	1億1289万円
	下水道事業(第2号)	7万円	1億8021万円
	住宅用地造成事業(第3号)	210万円	5706万円

一般会計補正予算(第5号)

主な歳入

- 地方交付税追加5169万円
- 社会福祉費補助金1708万円
- 県農業費補助金追加3474万円
- 小学校校舎棟空調設備改修事業債2340万円
- 天領の里事業運営基金繰入金216万円

主な歳出

- ※1 臨時福祉給付金追加1530万円
- ※2 地籍調査業務委託料追加3018万円
- ※3 小学校校舎棟空調設備改修工事5960万円
 - 多目的運動場整備工事設計業務委託料...420万円
 - 天領の里施設修繕と擬木柵取り替え216万円

教えて 定例会



※1

臨時福祉給付金追加って何?

平成28年度2回目の臨時福祉給付金を支給するためのものだよ



※2

地籍調査業務委託料追加って何?

沢田地区の地籍調査で、平成29年度実施事業分を前倒したものだよ



※3

小学校校舎棟空調設備改修工事って何をするの?

小学校の普通教室と特別教室の20室にエアコンを設置する工事だよ



小学校普通教室にエアコン

可決した条例改正など（主なもの）

町職員の給与に関する条例の一部改正

- ・国の人事院勧告によるもので、若年層の給与月額（平均0.13%）、勤勉手当（0.1カ月）の引き上げ

町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

- ・期末手当（0.1カ月）の引き上げ

町特別職の職員で非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

- ・新たに農地利用最適化推進委員を選出し、月額19000円の報酬とするもの

町農業委員会の委員等の定数に関する条例制定

- ・農業委員会等に関する法律の一部改正により農業委員5人、農地利用最適化推進委員5人とするもの

上程された陳情

陳情第5号 新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する陳情書

全会一致で採択に決定

可決した意見書

発議第2号 新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書

- 提出先 内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣・環境大臣・衆議院議長・参議院議長

発議第3号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

- 提出先 内閣総理大臣・内閣官房長官・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長

案

人

件

事

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

磯部 友記雄氏（大門）



12月8日

補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

天領の里擬木柵 取替工事 111万円

加藤議員 現在、錆びている擬木柵を取り替えるにあたり、耐久性のある材質を使う工夫を行うべきではないか。

産業観光課長 以前の物とは違い材質を改良したものである。



老朽化した擬木柵

尼瀬観光用倉庫 改修工事 108万円

加藤議員 天領の里駐車場の旧トイレを観光用倉庫に改修するが、土産物売場を増やす等、町にお金が落ちる考え方はできないか。

小学校校舎棟 空調設備工事 5960万円

産業観光課長 天領の里でイベントを行うこともあり、看板などを入れる倉庫として改修を行う。

仙海議員 多額な予算だが内容はどのようになっていくのか。また、維持管理等

の経費節減をどうするか。

教育課長 新たに高圧受電設備を設置し配線工事等を行い、全30室のうち20室に入れる。経費については暖房での比較になるが、現在のヒーターの冬場ピーク時で月額約40万円が半分になると試算する。冷房費は新たに発生する。

仙海議員 小学校の授業参観で暑いことは承知しているが、一番暑い時期は夏休みである。子どもたちに暑いのを我慢しろとは言われないが、教育環境を整えた結果、児童の学力や成績が上がらなければならないと思う。

教育課長 教育効果がどうなのかは大切なことである。近年の異常な暑さに対応するため、学習環境を整える観点と、児童の健康を守る観点も大切と考え、授業に集中できる環境を整えた。

三輪議員 高圧受電設備では、基本料金が高額になる。使用方法を考える等、基本料金が高額にならないように工夫すべき。

宮下議員 電気容量が不足することで高圧受電設備を入れるが、新しくエアコンを設置することで電気容量は少なくなるのではないか。

教育課長 エアコンを取り付けない部屋では従来のヒーターも使うので、新たな受電設備が必要になると考える。

加藤議員 多額の予算だが見積もりは何社から取るのか。価格の交渉は行っているのか。また、管理業務委託料でも予算が掛かっているが何を行うのか。

教育課長 3社から見積もりを取り価格交渉も行っている。管理業務は設計に基

づき施工しているかを管理する。

多目的運動場 設計業務委託料 420万円

中川議員 テニスコートに屋根をつけてはどうかと話をしたが、町長は3億円かかると言った。なにも2億、3億の屋根をつけてくれとは言っていないが、どのように試算したのか。

教育課長 近隣の施設を参考にすると、約2億4千万円と試算される。



テニスコートの一部を多目的運動場へ改修

体育施設工事請負費

229万円

仙海議員 野球場整備工事の内容は。また、ベンチ内を塗装するが、秋になり陽が陰るとベンチ内にながりの水滴がつく。状況を業者に伝えて工事を施工していくようにできないか。

教育課長 内野の砂の補充と転圧、ホームベースの取り替え、マウンド・ブルペンの整備を行う。



塗料がはがれたベンチの壁

**有料道路使用料及び
駐車料追加**

15万円

高桑議員 町では高速道路を利用する場合に西山インターで降りするが、ガソリン代や高速料金を考えた場合、他のインター等も使うべきではないか。

総務課長 特に取り決めはないが時間を考えた場合で西山インターを利用していい。長岡北スマートインターもできるので見直していきたい。

**放課後児童保育
関係備品**

13万円

高桑議員 ロッカー、冷蔵庫、掃除機を購入するが当初から必要なものではなかったのか。また、水回りについて30人近くの児童が利用するのに、大人用の高さで、しかも蛇口は一つしかない、手を洗う時や水を飲む時などどのように対応していくか手洗い場や、冷水器など小学校に設置する

ことも考えられないか。

保健福祉課長 掃除機は故障による買い替えて、冷蔵庫は保冷材の保管用、ロッカーは指導員用である。水回りは部屋に設置できるスペースがなく、学校を使っている。部屋の手洗いは業務用と考えている。

教育長 今後、放課後子ども教室も始まるので、手洗い場や水飲み場も一体化した中で考えていく。



新しい放課後児童クラブ(出小)

議会のつぎぎ(主なもの)

平成28年10月～12月

20	14	12	9	8	1	29	15	11	10	9	8	11	11	10	7	4	28	12	5	10	3								
議会報特別委員会(議会だより94号)	第7回全員協議会↓詳細はp6、7	12月定例会最終日	議会運営委員会	12月定例会2日目(一般質問)	総務文教常任委員会	12月定例会招集日↓詳細はp2	議会報特別委員会(議会だより94号)	社会産業常任委員会	総務文教常任委員会	12月定例会2日目(一般質問)	議会運営委員会	12月定例会招集日↓詳細はp2	議会報特別委員会(議会だより93号)	議長・副議長・委員長・局長研修会(新潟市)	町村自治に関する研修会(新潟市)	出まえ議会(川西公会堂)	出まえ議会(八手改善センター)	第60回町村議会議長会全国大会(東京都)	出まえ議会(海岸公民館)	出まえ議会(西越改善センター)	第6回全員協議会↓詳細はp6	新年度予算意見交換会	行政視察(大阪府河南町、和歌山県みなべ町)	↓詳細はp8、9	総務文教常任委員会 学校訪問↓詳細はp9	議会運営委員会	12月定例会招集日↓詳細はp2	議会報特別委員会(議会だより93号)	臨時会

全員協議会

主なものうちから抜粋して掲載しています

第6回 11月11日

●子育て支援センターの検討状況は

保健福祉課長 テニスコーナー

トの場所を全面改修し、多目的運動広場と併設して子育て世代包括支援センターを整備するが、その検討状況について。

機能としては、
①遊びや交流、相談など、子育て支援センター本来の機能
②住民総参加で子育てを応援する仕組みづくりをすすめる事業を展開する応援拠点
③療育事業拠点として動作言葉の訓練機能や、早期療育から自立につながるプログラムの策定支援
④災害時の母子福祉避難所

などがあげられる。「子育て支援センター検討ミーティング」という

懇談会を持ち、意見を聞いている。設計は、入札で「タキザワ設計」に委託することとなり、具体的に進めて行きたい。

総務課長 財源について

現状では国県の高額補助がない。この度、国の二次補正で地方創生拠点整備交付金という追加があった。小さな拠点として多世代が交流する先進的な施設が要求され、条件をクリアしなければならぬが、挑戦したい。

高梁議員 盛りだくさんの事業内容だが、テニスコート半面のできるのか。使い勝手が良く、環境に配慮した場所も必要になる。そういった業務に詳しい方の意見を取り入れるべきではないか。

三輪議員 保育園との連携はどうか。

保健福祉課長 示したものは大まかな配置図であり、今後の検討で整理して具体的に決定していく。療育事業では保育園と連携し、0歳から18歳までの子どもすべてを包括的にサポートする。

仙海議員 どういう経過で中央公民館エリアでの開設となったのか。ふれあいの里でのちびっこルームを充実させても良かったのではないか。

保健福祉課長 以前から要望があつて、暫定的にちびっこルームを開設したが、かなり利用率が高く、センターを建てたいと考えた。一定の場所が必要であり、一元的にサポートしていくためには機構改革も視野に入れて中央公民館エリアとした。

●農業委員会新制度への移行スケジュールは

産業観光課長 農業委員の

定数基準は100ヘクタールに1名なので5名となる。地区担当の農地利用最適化推進委員5名とペアで活動する。2月に公募を開始し、その後評価会議、協議を重ねたうえで6月に決定し、7月20日から新体制となる。

諸橋議員 各団体からの推薦はどうなるか。

産業観光課長 今までの枠組みはなくするが、各種団体からの推薦はある。

中野・三輪議員 最適化推進員は初めてで、総会出席の義務はないと言いが、出席しないとうまくいかないのではないか。

産業観光課長 法律の関係で義務はないが出席のお願いはしていく。最適化

推進委員は農業委員とペアで各地区の耕作放棄地の防止等に尽力いただくので、地区に精通した方が望ましいと考えている。

●放課後児童クラブは出雲崎小学校に移設

保健福祉課長 11月7日から開設場所を変更した。

今後、一体型の放課後児童クラブ、放課後子ども教室を進めて行く。

●国道352号展望坂工事の進捗情報を伝えて

仙海議員 出まえ議会で、住民の方から「工事

はできなくなつたとの噂がある」と話があつた。地域も心配しているの状況伝えて欲しい。

建設課長 県から、土地の相続の関係が難しい状況と聞いているが、工事がなくなるということはない。今後県と調整して方向性が固まり次第、説明させていただきます。

●池田駿選手から子どもたちに励ましを

仙海議員 池田駿選手が

●子育て支援センターの進捗状況について

総務課長 国の二次補正

予算採択に向けて、発展させた事業イメージについて説明する。指摘を受けて内閣府と調整しているが、年内に申請し、1月中旬に決定となる。従来の子育て支援センターでは採択されなかったため、子育て支援センターをメインに「小さな拠点施設」の部分機能として、多世代多地域の人たちが集う町民福祉の拠点施設を目指している。

保健福祉課長 本事業につ

いては、町の重点課題としてとりあげ、特定施策室の推進課題としている。事業を進めるにあたって「子育て支援センター検討ミーティング」を設置し、利用者や保育に関わる方々、公募メンバーを含め、平面図を示して具体的に検討を重ねている。想定される事業

費は、外構工事を含め1億5千万円程度と考える。

高桑議員 子育て支援セ

ンターは特別な配慮をもって設計をしなければならぬ施設である。図面には事務室の位置など多くの課題があり、設計者は特別な場所であることを理解していないのではないか。

三輪・加藤議員 近くに駐車

場を確保すべきではないか。

仙海議員 事務室ついて

は、特に安全面、防犯上からも入り口にあるべきと思う。利用者の意見に加えて、携わる関係者の意見を取り入れるべきではないか。

宮下議員 設計者は、他

の支援センターを直接見て、もっと勉強してもらいたい。

保健福祉課長 今回の図面

は前回のミーティングでの意見を反映させたものであり、今後さらに修正をかけていく。

町長 時間がかかっ

ても徹底的に皆さんの意見を聞き、喜ばれる施設を作りたい。

●町の奨学金はこう変わる

教育課長 出雲崎町奨学

金返還支援制度については、平成28年度に就職された方から対象となる。在学中に周知してもらおう

ことが大切で、要項を制定し、広報紙・回覧をは

じめ、成人式や各申請時等でPRしていく。

加藤議員 28年度以前に

就職した方は対象にならないか。

諸橋議員 支援制度を利用

したが、何らかの事情で仕事を辞めた場合、アルバイトや非正規雇用等

はどうなるか。

教育課長 対象となる方

は、28年度以降の就職者となる。「就職」の定義だが、自営業以外の場合、会社の健康保険に加入すれば対象。辞めた場合は外れるが、再就職すれば再度対象となる。

●小学校の空調設備は今夏から

宮下議員 今後、他施設

の空調については、高額の空圧については、高額の空圧受電設備の増設でなく、既存の設備を増強する方法も検討いただきたい。

仙海議員 子どもたちが

通うなかでの工事は十分に気をつけて欲しい。どのようなスケジュールか。

教育課長 足場を組むた

め、入学式直後に着手し、暑くなる前に完了させたい。

●展望坂拡幅工事の状況報告を

中川議員 最初の予定で

は用地買収に入る時期であったはず。知らされないうことで不安になっている住民に、何らかの形で早急に説明するべき。

町長 まもなく、

はつきりした方向が出るのでお知らせしたい。全力であたる。

建設課長 県との最終的

な打合せに入るので、結果が出次第お知らせする。



改修が待たれる展望坂

●その他に協議されたこと

- ・ 町民野球場の使用期間を改正して、冬期間でも使えるようにしてほしい。
- ・ 「こども110番の家」を分かりやすく整備周知してほしい。
- ・ 天領の里に町内各地のイベント案内看板の設置を。
- ・ 天領の里時代館広場側白壁を有効活用してはどうか。
- ・ ふれあいの里、リハビリ室の運動機器を風呂の利用者に開放できないか。
- ↓ やすらぎの里が所有しており、リハビリ等で日々使用しているのが難しい。
- ・ ふるさと就職支援商品券の利用場所の拡大を。
- ・ 税金等をコンビニでも納付できるように。
- ・ 小学校にもこころの相談員に関わっていただきたい。

行政視察報告

11月15日

大阪府

 かなんちよう
 河南町

子育て支援事業について

町の概要

大阪市の中心部から25km圏にあり、人口約1万5800人、面積は25・26km²の町である。町域の3分の1の山地部が金剛生駒紀泉国定公園に指定され、その前面に丘陵地、段丘地が広がる。なにわの伝統野菜などを栽培し大都市近郊の農業の町として発展した。昭和の時代から始まった住宅団地の入居等により、人口は増加している。

平成23年には、災害対策基本法に基づく災害時の応援に関して、本町を含む全国13市町村で「砂防関係協力市町村災害時応援協定」を締結した。

研修内容

河南町役場で子育て支援策及び、子育てセンターおやこ園について説明を受けた後、隣接する総合保健福祉センターに移動して現地視察を行った。

河南町の子育て支援は、平成22年から全て教育委員会に移し、「教・育部こども1ばん課」によって行われている。

課内には、福祉センター内に心理、療育相談や子育て支援センター等の運営業務を行う「子育て支援係」があり、児童手当や子ども医療費、放課後児童クラブなどを扱う「子育て応援係」は諸手続きがワンラインで完結するよう、役場庁舎1階正面に設置されている。

子育て支援センターおやこ園では広場の提供や子育て相談などの他に、療育相談やそのサポート、男性子育て教室、A L Tを招聘して子どものイングリッシュ教室を行っている。また、来園できない親子を中心に地域の集会所や幼稚園を借りて職員が出向いて支援活動を行っている。一時預かり保育は、保護者のリフレッシュのためにも積極的に進んでいる。

また、「こども1ばん課」により、子育てに関することはワンストップ体制で行われており、中学校卒業までの情報が共有されることで、スムーズに対応できているとのことだった。

これから、子育て支援センターを開設する本町において、大変参考になる事業であり、機構改革を含め、町民が真に必要なサービスを行っていかねばならないと感じた。

(高桑佳子)



河南町子育て支援センター

和歌山県 みなべ町

梅を核とした産業振興

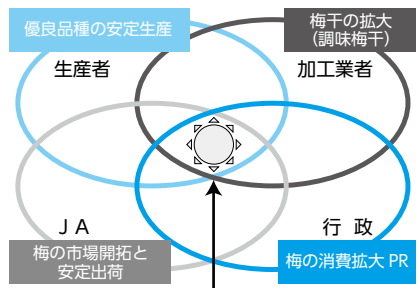
町の概要

みなべ町は和歌山県のほぼ中央に位置し、東西に流れる川沿いに丘陵地が広がり、南北に海岸線が伸び風光明媚なところである。人口約12000人面積1200平方キロメートルで、人口、面積は当町の3倍である。

南高梅の梅林が広がり、梅干しの生産は日本で、人口の40%約5000人は農家で田圃や畑は見当たらず一割程度でほとんどが梅栽培で、剪定から受粉、収穫加工と一年中仕事が続切れることはない。

有名な南高梅の誕生は、明治時代に多くの苗木の中に粒が大きく美しい色をした優良種が一本発見され、接ぎ木育苗で増殖させてきた。高品質な梅を持続的に生産する技術が、世界的に評価され、世界農業遺産に認められた。また、「おにぎりの具は梅干し」を呼びかけ「梅干しでおにぎり条例」を制定し、梅の消費喚起をしている。

生産者・加工業者・JA・行政 4者の連携による活性化



この歯車が噛み合って産地は、活性化し発展してきた

梅産地が抱える課題と戦略

産地の課題は消費の低迷、担い手の育成、労働力の確保、耕作放棄地対策など多岐にわたっている。なかでも若年層の梅干し消費拡大、梅干し以外の梅加工品の取り組みや大学の参画による機能性解明と商品開発に力を入れてきた。

また教育出版社と連携して梅の食育副読本を作成、全国小学校に配布し、出前授業活動でPRを行っている。女性の感性を生かしたジェラートなど6次産業の推進、子ども学生向きの農山村体験学習事業の実施、「梅干し、健康、スポーツ推進事業」では日体大と連携してスポーツ選手に梅加工品の「ランナーズ梅干し」を提供し機能解明と商品開発などで町の活性化を行っている。(加藤修三)

出雲崎中学校視察

総務文教常任委員会視察報告

中学校でのIT授業を中心とした教育について、11月29日に委員全員出席し、教育長・教育課長と視察を行いました。

校長先生からコンピュータ、電子黒板を使った授業について説明を受けた後、2年生の総合学習でのコンピュータを使った授業を視察しました。

新潟市での巡検の報告書をコンピュータを使い5〜6名の班ごとに作成する授業で、文章、図面、写真作成と真剣に取り組んでいた。班により表紙作成どまりの班や図面等を使って作成している班など習得に大きな差があると感じました。

タブレットが4台あるが、重たい、使いたいアプリが入っていない等で、あまり使用されていないと説明があり、今後の課題である。

電子黒板は主に英語授業に利用しており、発音練習などは大変有効であり、時間の有効利用になり、電子黒板の更なる利用拡大が望まれる。校長先生より、毎回、

授業でセットするのが大変なので、空き教室を英語専用の部屋として使えないか検討中であると説明がありました。

委員からは小学校と中学校とのコンピュータ教育の連携と英語教育でのITの活用推進の意見が出されました。

総務文教常任委員では今後も学校教育の実態を調査し、教育向上のため意見、提言を行なってまいります。(三輪 正)



パソコンを使った授業

妻入りの街なみに 観光客を



仙海 直樹 議員

一般質問

町長

天領の里から街なみへの導入線を総合的に判断していく

町長 活用計画策定を委託したが示された案は

仙海 旧津又邸は明治時代後期から大正初期の建築と言われ妻入り家屋としての価値が高い。修復し保存を行い観光客に公開すべきではないか。

町長 街なみの中に食べる・体験する・休める等のものを整備したいと考えている。

仙海 海岸部の妻入りの街なみ保存や、地域の活性化を図るために、住宅修景の促進や空き家を活用した楽市空間の整備を行うとしているがどのようなものか伺う。

楽市空間とは

お尋ねします お答えします



白紙に戻し再検討を行う。提案のように古き良きものを残す考え方もあるので提案を受け止めて検討したい。

仙海 町が寄附を受け解体工事を行った尼瀬3区の土地や、天領の里から街なみの中に入る諏訪本町地内の津波避難道脇にある売り地等、これらを活用して天領の里から街なみの中に観光客が入ってくる仕組みを作らなければならぬと考えるが町長の考えを伺う。

町長 天領の里から街なみへの導入線を総合的に判断していかなければならぬ。全体の中で街なみ・天領の里・史跡・良寛などを結び付け、全体計画の中で町の将来的

川西地域の農地について

町長 次の候補地にするかは 言えない

に資する公共的なものにしていきたい。

仙海 過去に川東団地は、小木の方向に伸びていく第3期分譲の構想があったと記憶している。そのために、川東団地から吉水橋の農地は、平成元年に農業振興地域の整備に関する法律から外してあると認識しているが、どのような経緯で現在に至っているか伺う。

町長 平成元年ではなく昭和61年である。行政として町全体の土地利用を考えて地権者に示し、最終的に地権者が判断し外したと思う。

仙海 今後、町として住宅団地の造成や、老朽化した町営住宅の建て替

え等を進めていくと考えられるが、町はこの農地をどのような方向で考えているか伺う。

町長 今後、松本団地23区画を分譲するがその動向を見極めたい。次の候補地にするかしないかは言う事はできないが議会とも相談したいと考える。

仙海 耕作を行なう方からすれば色々な制度が使えらるに越したことは無いが農振除外地だと難しい面もある。町単独で支援することは考えられないか。

町長 状況を判断しながら町としても支援していく。地権者から要望があれば協力したい。



諸橋 和史 議員

出雲崎宝ものの活用を

町長

前向きに検討していく

宝もの新発見事業について

諸橋

一部展示されているがまだ活用の指針が見えない。今後どのように活用していくのか。

町長

手つかずにしておくと埋もれてしまう町の宝ものを見つけ、地域資源を活用。また私有物が多いため期間限定展示が中心。中央公民館で年1回、妻入り会館で常時展示等を考えている。

諸橋

資料では私も見たことのないものも多く載っている。町民向けのツアー等できないか。

町長

前向きな提案と受け止め、動かせないものは機会をとらえながら対応していく。

町農業について

町長

後世に残す気構えで

諸橋

出雲崎まるごとオーナー制度ができ釜谷梅、汐風米の一定の成果が出ている。町には美味しい梅、米があるので、イベントでおにぎり等の販売をしてはどうか。

町長

新年度は町の食をテーマにしたイベントを計画している。町の食をいかに消費者に売り込むかについて検討している。

諸橋

和歌山県みなべ町に視察に行き、どこの農業も厳しく、次世代の育成に苦労している。JAの農産加工場の利用率も下がっており、対策についてお聞かせ願いたい。

町長

農産加工場は大変厳しいが存続すべき。従来の考えでなく、付加価値を付けていく。またリスクを乗り越えて行う

こと。梅団地については、行政がしっかりとテコ入れをしていく。

電気柵等の補助は

諸橋

近年各地に鳥獣被害が頻発しており、町では特にイノシシが多い。町の対策は。また電気柵等の補助の考えはないか。

町長

猟友会、吉水集落の懇談会に出席し、町で鳥獣被害対策の強化を含め電気柵の補助も伝え、わな、おり、猟銃を重視している。今年度はイノシシ5頭を捕獲したと聞いている。

諸橋

八手地区の基盤整備等が行われる。相続の未登記、不在地主等は町として把握できているのか。

町長

八手地区には障害はないと思う。耕作放棄については農業委員会が実態を把握、また来年農地利用最適化推進員がスタートし、集積、荒廃について専門的に検討していただく。

諸橋

平成30年に減反が廃止される。町では戦略作物の育成等、次世代農業者についてどのようなことを考えているか。

町長

減反が廃止になっても米を作ろうという状況にならない。自分の世代で安定したものを次の世代に継ぎ、良い耕作条件でおいしい米を高く売れるような条件整備をしていく。町の土地を後世に残す気構えで耕作者、行政も前向きに対応すべきと考える。

昭

和40年に出雲崎中学校を卒業し、進学や就職で多くの同級生が町外に巣立っていきました。

「仲間の絆を大切に!」と、私たちは会名「夕渚会」を結成し、毎年1回の会報を発行し続けて、今年で35回を記録するまでになりました。ふるさとで過ごした日々の思い出や、故郷の魅力を再認識する機会を増やす情報等を毎回発信しています。町の政策の一つの同級会支援を活用し、毎年の新年会や5年ごとに開催し



逸話館の松本幸四郎筆良寛像

ている夕渚会総会、還暦総会も必ず町内で開催しています。その際、県内外から多くの同級生やそのご家族が来町され、特産品のモゾク等のいろいろなお土産を購入されます。節目ごとに特大花火を計画し、町の魅力を皆さんから再認識していただけるようにしています。空き家情報等も伝わり、何人かは定年後Uターンし定

住されました。良寛逸話館を開館した方や、今後Uターンを考えている方もいます。同級生の子どもたちも成長して、大阪の歌謡ショーに出演したり、施設慰問で歌を披露して喜ばれている方もおります。今後、町出身の若者たちを応援して、町交流人口の拡大で町の元気につなげていけたらと思っています。

私たち夕渚会は古希総会に向けて、ふるさとを尚一層盛り上げるために町内外の人との連絡を密にして、計画を立てて頑張っているところです。出雲崎町頑張れ!

町民の声

町の元気に私たちも

伊勢町 太田 修治



表紙の小話

ふれあいの里、ちびっこルームでは12月最後の開設日にお茶会が開かれました。赤ちゃんが遊ぶ傍らで、子育てアドバイザーを交えてママたちの情報交換が行われます。

時折、お風呂に入りに来たお年寄りが、目を細めてうれしそうに手を振って行かれます。遊んでいた赤ちゃんも気づいて、窓のあちらとこちらでタッチのご挨拶。ほっこりと心温まる姿でした。

昨年春に発表された、本町地方創生総合戦略事業の「子育て支援センター」は、どんな施設となるか、検討が重ねられています。これから本町の子育て支援の核となる場所です。みんなが集うあたたかい場所になって欲しいと思います。(高桑佳子)

編集後記

新年あけましておめでとございます。すこやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

毎年、議会報特別委員会では広報研修会に参加するなど、読んでもらえる議会だよりを目指し作成をしています。

町民目線・読者目線での作成が読んでもらえる誌面作りに繋がると教わります。行政も同じで、町民目線・住民目線での町づくりが、住みたい町・住み続けたい町に繋がるのではないのでしょうか。

今年も議会の内容が、皆さんにより良く伝わるよう工夫を凝らしていきたいと思えます。

(仙海直樹)

議会報特別委員会

- 委員長 高桑佳子
- 副委員長 加藤修三
- 委員 仙海直樹
- 委員 三輪正